

PVI2026 外観検査ワークショップ開催にあたって

私は PVI2026 外観検査ワークショップ開催地である『白壁の町倉敷』に本社を構えます丸五ゴム工業、製造本部の塩津と申します。本ワークショップは、周辺視目視検査法を中心に、現場の課題解決を追求し続けてまいりました。今年のサブタイトルは、**『目視検査環境を見直し、品質の安定と心身の健康を図る』**です。過去の開催を振り返りますと、2017年の「目視検査の異次元展開」から始まり、近年では「健康を取り戻す」「健康で楽しくなる」「日本が復活するための改善」といった具合に、検査の効率化だけでなく、**検査員のウェルビーイング（心身の健康）**へとその焦点を広げてきました。今回のプログラムも、その集大成と言える非常に多角的な内容となっています。

環境の力 インテリア健康学の視点から、空間が心身に与える影響を考える基調講演。

技術と人の融合 AI時代だからこそ、現場の目視検査員から学ぶ自動外観検査の開発。

身体機能の向上 周辺視野を拡大し、検査員の疲労を軽減するための「北出式視覚トレーニング」や最新の有機 EL 照明の活用。

さらに、本ワークショップでは単なる座学にとどまらず、「検査体験」や「機器展示」を通じた実践的な学びを重視しています。遠隔作業支援、作業分析ソフト、敏捷性トレーニングギアなど、最新のツールを実際に手に取り、自社のワークについての相談も行える貴重な機会です。最終日には、**人間中心の「シン・IE（経営工学）」**についての講話や、モデルラインでの改善の進め方に関するパネルディスカッションも予定されています。

この2日間を通じて、皆様が「鳥の目でラインを、虫の目で動作を」見つめ直し、品質の安定と、そこで働く方々の健康を両立させる新たなヒントを持ち帰っていただけることを切に願っております。

PVI2026 実行委員会 委員長 塩津弘康（丸五ゴム工業）



実行委員会一覧

委員長	塩津弘康(丸五コム工業),
副委員長	皆川健多郎(大阪工業大学),菅野純一(ヴァスコ・テクノロジーズ),金田篤幸(カゾウ)
事務局	石井明(香川大学名誉教授),(現地)仁科和人(丸五コム工業)
幹事	青木公也(中京大学),奥山弦(カネカ),梅崎浩孝(カネカ),梶原雅典(キレックス),北出勝也(視覚トレーニング協会) 近藤嘉彦(トヨタ自動車),佐々木章雄(周辺視目視検査研究所),鈴木一成(OLED 青森) 中嶋良介(慶應義塾大学),中野宏毅(元日本 IBM),野村和史(日本生工技研),広瀬修(住友化学) 森由美(成城大学),劉偉(東京エレクトロニクス)
委員	東川昌信(北川工業),植田誠二(フロンティア 安来工場),石井明(立命館大学),稲垣和仁(富士電線工業) 今堀勇三(レイマック),柴本知彰(カネカ),藤澤興(カネカ),尾田恵(菜インテリアスタイリング),菅康宏(キレックス) 北島明広(日産自動車 横浜工場),増田雄一(日産自動車 横浜工場) 久嶋浩之(浜松地域イノベーション推進機構),篠田正行(目視検査科学化推進センター) 高橋一哉(高橋一哉特許事務所),高見孝一(コムノイキ),滝聖子(香川大学),田代安彦(三菱マテリアル) 中村俊(コルボ),本多航也(ヴァスコ・テクノロジーズ),本田良二郎(ヴァスコ・テクノロジーズ) 丸地三郎(日本古代史ネットワーク),山田規夫(デソル北海道),横山真智子(三重大学)
顧問	興水大和(中京大学名誉教授),寺田賢治(徳島大学),野口稔(日立ハイテック),山本和彦(岐阜大学名誉教授)